



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 セブンシーズホールディングス株式会社
コード番号 3750 URL <http://www.sshd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長
四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

(氏名) 藤堂 裕隆
(氏名) 関 裕司

TEL 03-5771-8531

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	823	24.4	0	—	△1	—	315	—
27年3月期第1四半期	661	△18.7	△10	—	△13	—	△23	—

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 315百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △58百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第1四半期	219.60	—
27年3月期第1四半期	△16.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	円銭
28年3月期第1四半期	4,419	—	3,508	—	79.4	—	2,440.93	—
27年3月期	4,721	—	3,193	—	67.6	—	2,221.21	—

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 3,508百万円 27年3月期 3,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	4,000	△1.9	200	△52.4	190	△52.5	450	275.0	312.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	1,588,704 株	27年3月期	1,588,704 株
28年3月期1Q	151,395 株	27年3月期	151,155 株
28年3月期1Q	1,437,382 株	27年3月期1Q	1,438,360 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料 2 ページ「当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日)における我が国経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策を背景に、企業業績の改善、設備投資の回復が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、各事業において事業基盤の整備・拡充、ならびに各事業領域における競争力強化、収益性向上に鋭意取り組み、より付加価値の高いサービス、ソリューションの創出とお客様へのご提供を積極的に図ってまいりました。この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における連結売上高は823百万円(前年同四半期比24.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔フィナンシャルソリューション事業〕

当事業は、セブンシーズ債権回収(株)、セブンシーズ・アセット・マネジメント(株)及びセブンシーズフィナンシャルソリューションズ(株)から構成されております。

セブンシーズ債権回収(株)は、債権管理回収業に関する特別措置法に定める債権回収会社として、債権の買取り及び回収業務を行っております。また、セブンシーズ・アセット・マネジメント(株)は不動産売買などを行った結果、当第1四半期連結累計期間のフィナンシャルソリューション事業の売上高は530百万円(前年同四半期比270.8%増)となりました。

〔メディア&マーケティング事業〕

当事業は、(株)インターナショナル・ラグジュアリー・メディアから構成されており、出版広告や印刷の受託業務をはじめ、雑誌及びコンビニエンスストア向けの企画商材の販売等を行っております。

コンビニエンスストア向け商材の委託は堅調に推移したものの、取扱雑誌の広告代理店業務に関して一部契約内容を変更したことに伴い、これまで収益及び費用は総額表示しておりましたが、純額での表示に変更したことにより、当第1四半期連結累計期間のメディア&マーケティング事業の売上高は116百万円(前年同四半期比66.4%減)となりました。

〔カードソリューション事業〕

当事業は、モバイル・コマース・ソリューション(株)から構成されており、同社は、主にタクシー会社向けのカード決済端末サービスを提供しております。

サービス利用にかかる契約料、取扱高等が堅調に推移した結果、当第1四半期連結累計期間のカードソリューション事業の売上高は175百万円(前年同四半期比3.2%増)となりました。

なお、平成27年6月に、当社子会社であったモバイル・コマース・ソリューション(株)の株式を譲渡したことにより、カードソリューション事業から撤退しております。

損益面につきましては、営業利益は0百万円(前年同四半期は営業損失10百万円)となり、支払利息の計上等により経常損失は1百万円(前年同四半期は経常損失13百万円)となりました。また、関係会社株式売却益を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は315百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失23百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,387百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円減少いたしました。これは主に前連結会計年度末に比べ現金及び預金が増加したものの未収入金及びたな卸資産等が減少したことによるものです。固定資産は32百万円となり、前連結会計年度末に比べ229百万円減少いたしました。これは主に連結範囲の変更を伴う関係会社株式売却により有形固定資産が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,419百万円となり、前連結会計年度末に比べ301百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は905百万円となり、前連結会計年度末に比べ601百万円減少いたしました。これは主に短期社債及び未払費用が減少したことによるものであります。固定負債は5百万円となりました。

この結果、負債合計は、911百万円となり、前連結会計年度末に比べ616百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年6月9日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社には該当しておりませんが、当第1四半期連結会計期間において、当社が保有するモバイル・コマース・ソリューション(株)の株式の売却により子会社ではなくなったため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の利益及び当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金に影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,126,674	1,502,224
売掛金	436,629	390,571
買取債権	1,419,373	1,422,626
たな卸資産	644,345	586,464
未収入金	765,648	425,427
その他	99,455	85,172
貸倒引当金	△33,566	△25,427
流動資産合計	4,458,560	4,387,058
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	168,462	9,414
有形固定資産合計	168,462	9,414
無形固定資産		
その他	40,437	2,939
無形固定資産合計	40,437	2,939
投資その他の資産		
破産更生債権等	336,159	338,787
その他	72,434	39,827
貸倒引当金	△355,418	△358,046
投資その他の資産合計	53,175	20,568
固定資産合計	262,075	32,922
繰延資産	636	-
資産合計	4,721,271	4,419,981

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	365,622	310,143
短期社債	184,160	-
短期借入金	281,600	303,997
返品調整引当金	43,150	25,120
訴訟損失引当金	200,000	200,000
その他	432,469	66,451
流動負債合計	1,507,002	905,713
固定負債		
退職給付に係る負債	20,501	5,310
その他	671	580
固定負債合計	21,173	5,890
負債合計	1,528,175	911,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,159,830	4,159,830
資本剰余金	1,756,922	1,756,922
利益剰余金	147,624	463,276
自己株式	△2,871,281	△2,871,652
株主資本合計	3,193,096	3,508,377
純資産合計	3,193,096	3,508,377
負債純資産合計	4,721,271	4,419,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	661,908	823,619
売上原価	487,671	618,566
売上総利益	174,236	205,053
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	62,988	69,679
その他	122,058	134,548
販売費及び一般管理費合計	185,046	204,227
営業利益又は営業損失(△)	△10,810	825
営業外収益		
受取賃貸料	2,479	2,479
古紙売却益	943	796
その他	930	294
営業外収益合計	4,352	3,569
営業外費用		
支払利息	713	3,000
賃貸費用	2,365	2,365
その他	3,667	636
営業外費用合計	6,746	6,003
経常損失(△)	△13,203	△1,607
特別利益		
関係会社株式売却益	-	329,777
特別利益合計	-	329,777
特別損失		
固定資産処分損	-	25
特別損失合計	-	25
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△13,203	328,144
法人税、住民税及び事業税	3,070	4,936
法人税等調整額	7,067	7,555
法人税等合計	10,137	12,491
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,341	315,652
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,341	315,652

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,341	315,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,866	-
その他の包括利益合計	△34,866	-
四半期包括利益	△58,208	315,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△58,208	315,652

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィナンシャル ソリューション事業	メディア& マーケティング事業	カードソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	143,152	348,352	170,403	661,908	-	661,908
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	143,152	348,352	170,403	661,908	-	661,908
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△11,620	5,725	30,820	24,925	△35,736	△10,810

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△35,736千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィナンシャル ソリューション事業	メディア& マーケティング事業	カードソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	530,856	116,880	175,883	823,619	-	823,619
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	530,856	116,880	175,883	823,619	-	823,619
セグメント利益又は セグメント損失(△)	21,664	△22,779	36,119	35,004	△34,178	825

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△34,178千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

メディア&マーケティング事業の一部の取引に係る収益及び費用は、総額で表示しておりましたが、契約内容を変更したことに伴い、純額での表示に変更いたしました。この変更により従来の会計処理方法による場合に比べ当第1四半期累計期間の売上高が、191,002千円減少しておりますが、利益への影響はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれん金額の重要な変動)

モバイル・コマース・ソリューション株式会社の全株式を売却し連結範囲から除外した事に伴い、「カードソリューション事業」セグメントにおいて、のれんが減少しております。なお、当該事象によるのれん減少額は、当第1四半期累計期間において17,843千円であります。